

生活

# インプラント 正しい理解を

虫歯や歯周病などで歯が抜けた際の治療法の一つ、「インプラント」が近年、中高年を中心に広がっている。入れ歯やブリッジなどの治療法に比べて優れた点が数多くある一方、手術ミスなどで訴訟に発展したケースもある。日本のインプラント治療の第一人者で、全国に歯科医院を展開するスワン会の鈴木純(理事長 54)は「粗悪な手術が一部で行われているが、本来はずばらしい治療法だ」と、理解の普及に努めている。

療に失敗したインプラントを別の患者に使い回してごいたことも発覚している。

こうした現状について、鈴木理事長は「安かろう悪かろう」という手術が一部にある。しっかりと手術をしようと思えば、CTスキャンや高品質のインプラントの使用などで1本当たり約40万円かかる」と指摘。そのうえで、「10万円以下をうたう医院は術後ケアやインプラントの品質に問題がある」とが多く要注意だ。安い手術で後に不具合が出て、後処理にさらに高額な医療費がかかるケースもある」と警鐘を鳴らす。

回、定期的に説明会を開催している。17日に帝国ホテル(東京都千代田区)で開かれた説明会には117人が参加。荒川区の無職男性(60)は「差し歯が取れ、医師からインプラントを薦められた。説明会に参加し、値段は高いが検討しようと思っただ」と話した。

鈴木理事長は「骨粗鬆症や高血圧など、リスクがある患者はいる。それは手術前に綿密に検査すれば回避できる」と話す。適切な手術であればインプラントの定着率は95%を超え、安全性も極めて高いという。

埋め込まれていたなどの情報が寄せられている。今月13日には、愛知県豊橋市の歯科医院で手術を受けた60代男性が「不適切な治療で約550万円の損害を病院側に約550万円の損害賠償を求めた訴訟で、名古屋地裁は「術前検査が十分でなく、治療法に同意を得ていなかった」と病院側に約440万円の支払いを命じた。この医院は治

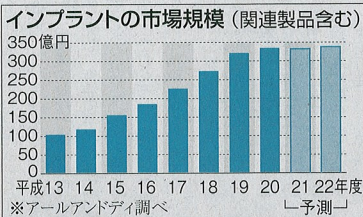
鈴木理事長は正しい理解を広めるため、平成3年から年に数

鈴木理事長は「長期的な実績・経験があり、それをデータを基に示せる医院が第一。インタネット上に架空の実績を提示している悪質な医院もある。手術のメリットとリスクを患者に説明しているか、継続的な術後ケアがあるかを見るのも大切だ」とアドバイスする。

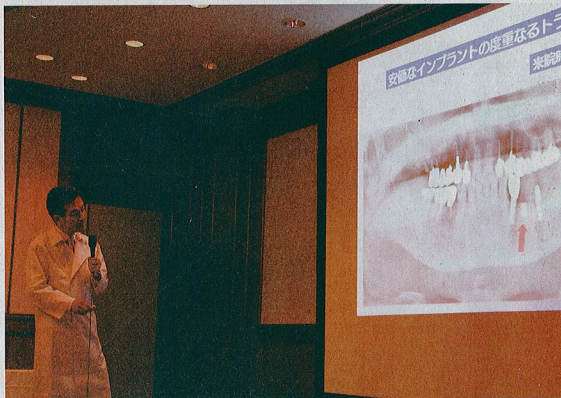
## 1本40万円が妥当

21年間で約7万4千件の手術実績を持つスワン会の統計で見ると、患者の平均年齢は約57歳。医療系の統計調査会社「アールアンドディ(名古屋市中瑞穂区)によると、日本のインプラント市場は拡大している。不況の影響で平成22年度以降は横ばいの見込みだが、平成18~20年度までは右肩がりの推移だ。しかし、トラブルも起きやす

い。国民生活センターによると、インプラントをめぐり、「治療途中で人工歯が折れた」「手術後に顎関節症になった」「痛みや出血が続き、調べたら斜めに



## 手術ミスで訴訟…格安治療には要注意



インプラントに関する説明会で講演する鈴木純二・スワン会理事長。平成3年からインプラントへの理解を深めるため、定期的に説明会を開催している。＝17日午後、東京・内幸町の帝国ホテル

### 歯のインプラント

虫歯や歯周病、事故などで歯を失った際の治療法の一つ。あごの骨にチタン製の人工歯根を埋め込み、人工歯を装着させる。第二次世界大戦後、欧米で本格的な研究が進み、日本では1990年代から認知が進んでいる。入れ歯やブリッジなどの従来の治療法に比べ、天然の歯に近く見栄えも

良い▽周囲の歯を削る必要がなく、ほかの歯にかかる負担が小さいなどのメリットがある。一方で、あごの骨を削るため、後遺症や感染症の可能性▽自由診療のため治療費が高額—などのデメリットがある。ただ、治療費や検査費は医療費控除の対象となるため、所得に応じて一部還付される。